

人と魚と海のネットワーク  
香川県漁連ホームページ  
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/  
E-mail:gyoren@kagawa-  
gyoren.or.jp



**JF** 高松市北浜町 8 - 25  
TEL 087-825-0350  
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

# 謹賀新年

## 香川県漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 服部 郁弘



年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本会業務運営につきまして、格別のご協力を賜りありがとうございました。

さて、経済状況はますます不透明さを増しておりますが、われわれ水産業界は、資源の減少、輸入水産物の増大、就業者の減少や高齢化・後継者不足等の問題を抱え、さらに昨夏ピークとなった燃油価格の高騰により漁業の持続さえ危ぶまれるという状況におかれています。

また、本県の漁業は、魚価の低迷・販売不振、ノリ養殖における色落ちの問題等依然として厳しい状況が続いています。

燃油価格の異常な高騰につきましては、昨年7月東京において全国より約4千人の漁業者が集結し「漁業経営危機突破全国漁民大会」が開催され、さらに全国20万隻の漁船が一斉休漁を実施し、漁民の窮状を訴えました。

県漁連といたしましては、本県水産業が抱える諸問題を克服し、将来に向けて安定的に発展させていくために、養殖業の積極的展開と、栽培漁業と資源管理型漁業の有機的な連携、新たな流通システムの構築等により、つくり育てて売る漁業や安全・安心な水産物を消費者に提供する地産地消運動および子供たちに水産物のおいしさと栄養を学んでもらう食育を推進し、地域に根ざした活力ある香川型漁業を確立することが急務であると考えております。また、漁業生産の源である豊かな海の環境保全について、県民あげての運動として取り組むとともに、海難事

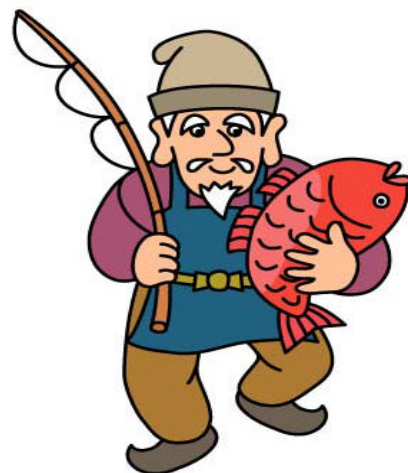
故の防止や漁業と海洋性レクリエーションとの共存をめざす海面利用の適正化に取り組む必要があります。漁業基盤の強化を推進し、担い手の確保や都市住民との交流などに取り組み、うるおいとにぎわいのある漁業地域づくりを進めていくことも今後の重要な課題です。

漁協組織の再編整備につきましては、本県の合併構想の再構築を図るため、新たに「香川県JF組織強化委員会」を立ち上げ、事務局として本会に経営強化対策室を設置し、県内漁協の合併推進および経営改善指導に取り組んでおります。

また、昨年はハマチ養殖80周年の記念式典や産直市などが開催され、ハマチ大使による県魚「ハマチ」の消費拡大キャンペーンを県内外及びシンガポールなどで実施し、消費者の皆様にはハマチのおいしさを知っていただきました。本年も引き続き、本県のブランドハマチ3兄弟「ひけた鯛」「なおしまハマチ」「オリーブハマチ」など本県産ハマチおよび本県産水産物の消費拡大に取り組む所存です。

本年も、厳しい経営環境が予想されるなか、会員・所属員の経済的、社会的地位の一層の向上を目指して諸事業に取り組んで参る所存でありますので、会員各位をはじめ関係者諸賢におかれましては、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方の限りないご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。



## 香川県かん水養殖漁業協同組合

### 代表理事組合長 嶋野 勝路



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

新しい年が組合員皆様にとって明るく、より良い年でありますよう願う次第です。

我が国の経済状況はアメリカのサブプライムローンに端を発し、世界同時不況に陥り出口の見えない負のスパイラルから脱却できずに喘いでいる。

顧みますと昨年のかん水養殖業は、餌飼料の相次ぐ高騰、燃油高による養殖資機材の高騰等、販売価格に転嫁されないまま、カンパチ、マダイは原価割れで推移して、辛うじてハマチだけが生産コストを上回る価格を維持できたものの、総じて厳しい年となりました。

今日のスーパー、量販店主導の価格形成される市場流通構造の中であって、生産原価を無視した販売価格は即、漁家経営を圧迫して収支面において以前にも増して悪化して既に限界点に達しています。

「何とかしてくれ！」全国の養殖業者の悲痛な叫びである。国においても、一昨年の生餌の逼迫状況から、サンマのTAC制度の見直し、餌料安定供給事業、共済制度の充実等(積立プラス)政策面において積極的に取り組んでくれているが、浜の生産者は資金繰りに四苦八苦しているのが現状である。養殖業本来の使命である安定生産、安定供給は云々もないがコストに見合う安定価格が保てなければ望むべきものではない。

然しながら、暗いことばかり云ってはいは途が拓けてこない。明るい兆しとして、野網和三郎生誕100年、ハマチ養殖80周年記念事業の一環として取り組んだ、ひけた鰺、直島ハマチ、オリーブハマチが香川のブランドハマチ三兄弟として、消費者の注目を浴び県内外のスーパー、量販店で年末商材として一斉販売され、販売促進の先行きに活路を見出した事は画期的であります。

就中、本年も魚類養殖を取り巻く環境は厳しいと予想されますが、逆境に耐え香川のブランドハマチ三兄弟を柱に販路拡大に向け、更なる努力を重ね役員一同、心を新たに香川漁連と連携を図り本組合

運営に邁進する所存でありますので、組合員皆様には尚一層のご理解ご協力をお願い申し上げて念頭のご挨拶と致します。

## 香川県海苔養殖研究会

### 会長 森 朝征



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、夏には燃油の高騰など生産コストの増加が心配され、秋にはアメリカでの金融危機、それに追い討ちをかけるように、

日本でもトヨタ、ソニー等の経営不振や雇用者のリストラなど深刻な状況となっております。ノリ養殖においては、平成19年度は漁期当初からスミノリが大量に生産され、12月末には栄養塩が減少して色落ちが進行し、1月には大半のノリ網が撤去されるという厳しい結果となりました。

今漁期を迎え、育苗は10月中旬以降から始められ、曇天が続いたもののほぼ順調に種網の育成が行なわれました。本張りは11月20日前後から開始され、一部で生理障害による芽落ちや食害がありましたが、ほぼ順調に生産が行なわれ第1回共販は3千万枚が上場されました。現在の栄養塩は高いレベルではありませんが、どうか順調に生産が続けられることを願うのであります。

本年は、特に「香川県産のり」の普及PR活動に力を注ぎ、各種イベントにも協賛参加して香川のおいしいノリをアピールし、今後の消費に役立てて行きたいと思っております。

最後になりましたが、ノリ関係各位のご健勝ご多幸と平成20年度漁期の豊作をご祈念申し上げますとともに、皆様方の尚一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



## 香川県無線漁業協同組合

### 代表理事組合長 服部郁弘

新年明けましておめでとうございます。平成21年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当組合の事業運営につきまして、多大なるご協力とご支援を賜りましたことを心から感謝申し上げます。本年も、漁業無線の維持発展のために、より一層の深いご理解とご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、操業中の不慮の事故は後を絶たず、気象海況の急激な変化により身の危険を感じられたこともあるかと存じます。漁船の衝突事故等は、昨年においても多発しております。昨年から航行中の小型漁船1人乗船時に救命胴衣の着用が義務化されておりますが、漁業者が自信の身を守るために、航行中及び操業中には必ず救命胴衣を着用されますとともに、緊急時における最も確実な通信手段として、漁業無線を十分に活用されますことを願う次第です。その漁業無線については、かねてから要望されてきた船舶局の定期検査について、本県においては5年間の免許期間中に2回ある定期検査を1回省略して、1回とする規制緩和措置が講じられることとなりましたことを、ご報告申し上げます。

また、超短波漁業無線を積載している漁船の乗組員が海中に転落した際、携帯する小型発信器から自動的に救急信号と位置データを海岸局へ発信し、自船も自動的に停止する「小型漁船救急支援連絡装置」について、更に検討していきたいと考えております。

海上で操業する漁船と陸上との通信基盤としての漁業無線は、操業の安全と効率化による生産性の向上及び貴重な人命の確保という重要な役割を担っていると認識し、当組合としては本県の重要な基幹漁業である漁船漁業の発展のため、今後も地道な努力を続ける所存でございます。つきましては、組合員各位におかれましては、本年も格段のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、組合員並びに系統関係者の皆様方のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します



## 社団法人 香川県水産振興協会

### 会長 服部郁弘

新年明けましておめでとうございます。

平成21年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年中は、本協会の業務推進につきまして、会員を始め関係者皆様には格別のご支援、ご指導を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、20年度の本協会事業は、漁船漁業の資源生産向上対策として、大型種苗放流事業を継続実施し、また放流効果実証事業の一環として10月には、標識放流によるヒラメの移動調査を県下全域において開始しました。ヒラメの移動状況を科学的に分析し、今後の有効な放流事業実施のためにも、皆様には再捕報告についてご協力をお願い致します。漁場環境保全対策としては、海面・海浜清掃事業等への支援、漁業操業安全対策として、救命胴衣の設置・着用促進等を積極的に推進してまいりました。しかし、昨年も本県海域において海難事故が頻発しており、一方では救命胴衣の着用率は未だに低く、操業中の死亡事故が5件も発生し、漁業操業の安全確保に大きな課題を残す結果となってしまいました。

また、昨年はハマチ養殖80周年を迎え、県並びに関係団体と連携し、県内外においてさまざまな記念事業に取り組みました。11月には京浜地域において「流通懇談会」や量販店での「香川県フェア」を開催し、香川県産の養殖ハマチを中心に、地魚、加工品、海苔等の県内水産物の消費拡大を促進するとともに、学校給食への食材活用等、地産地消・食育の推進にも努めました。

21年度も、引き続き本協会の中核的事業である放流事業を始め、海難予防を徹底するための漁業操業安全対策事業、他各事業の一層の充実化に努めて参りたいと思います。また、昨年12月1日に施行されました「新公益法人制度」への対応につきましては、現在公益認定申請を視野に入れた、移行の準備を進めているところであります。

つきましては、本年度も本県水産業の振興に寄与する所存ですので、倍旧のご協力、ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

最後に、平成21年が輝かしい年となりますよう祈願し、併せて会員並びに関係者皆様のご活躍とご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 全国漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 服部 郁弘

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、全国津々浦々でご活躍中の組合員の皆様並びにJFグループの皆様にご挨拶を申し上げます。

国際原油市況の乱高下や、米国の金融危機に端を発する世界経済の急速な悪化など、経済・社会諸情勢が目まぐるしく変化する中、国内においては、食の安全・安心の重要性の問題や燃油・資材類等の価格高騰による経営コストの増加等、組合員・JFグループの経営環境も一層厳しさを増している状況にあります。

特に、漁業・漁船にとって血液ともいべき燃油価格の未曾有の高騰から、昨年夏開催した「漁業経営危機突破 全国漁民大会」に約4千人の漁業者が集結し、「漁業を守れ!」という悲痛な声を上げるとともに、わが国漁業の歴史上初めて、全国20万隻の漁船が一斉休漁に踏み切り、浜の窮状を訴えたことは記憶に新しいことです。

我々漁業者の要望を重く受け止めていただき、昨年7月末の燃油高騰水産業緊急対策に続き10月には、総額6百億円の大型補正予算が政府より追加措置されました。この緊急対策は、中長期的な漁業経営の体質強化と構造改革推進を目指すものでもあり、安定的な経営を維持していくための将来を見通したセーフティネットとして、有効に活用していくことが重要です。

JFグループは、2006年度からスタートした現行の運動方針に則り様々な活動を行ってきましたが、この実践活動も今年度末で3カ年を経過します。これについて、水産業をめぐる情勢の変化やJFの経営改善に向けた取り組みが現在その過程にあること等を踏まえ、基本的には現行方針を2009年度も継続しつつ、重点取組事項のさらなる強化を図るとともに、実践的課題を中心に方針の一部補強を行い、確実に実行していくことを昨年12月の「全国漁連(県漁協)・信漁連会長、漁済組合長合同会議」において決定したところです。

これら以外にも、さまざまな課題が山積しておりますが、諸課題への対処や、施策の実現のためには、JFグループの総力を結集し水産政治力の強化を図ることが不可欠です。

JF全漁連といたしましては、JFグループの皆様をはじめ社会からも信頼される組織を目指し、役

職員一丸となって一層の努力を重ねてまいります所存です。

この1年が、皆様方にとりまして良い年でありませうよう、また、操業の安全と一層のご繁栄・ご健勝を祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。

## 乾ノリ初入札!

平成20年度県内産養殖ノリ(乾海苔)の初入札会が、12月16日(火)高松市瀬戸内町の本会共販所において、44商社110名の参加を得て開催された。昨年より本張りがやや早まったことにより、小豆島・直島地区を中心に県下20漁協から出品があり共販枚数は3,004万枚で平均単価は9.02円であった。

なお、第2回共販は12月25日(木)に開催された。26漁協より出品され共販枚数5,632万枚、平均単価9.19円であった。



初入札の風景

### 主な行事予定(1/1~1/31)

- 1月5日(月) 仕事始め
- 5日(月) 新年初市祈願祭(中央卸売市場)
- 10日(土) 第3回乾のり入札
- 20日(火) 第4回乾のり入札
- 29日(木) 第5回乾のり入札



# こんにちは、坂出税関です

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

年初の本号では、昨年の主な税関ニュースを紹介させていただきます。

## 高松港で覚せい剤 1.3 キロを摘発！

3月6日、坂出税関支署・高松出張所は、高松港に入港した中国籍貨物船の中国人乗組員に対して職務質問を実施し、同人が着用するベストなどに隠匿していた覚せい剤約1.3キロを摘発しました。

摘発された覚せい剤



## 薬物・銃器の密輸阻止に向けたアピール！

10月5日、坂出税関支署は、「坂出税関支署薬物及び銃器 取締強化期間」の実施に併せ、「イオン高松」において関係取締機関と合同で、覚せい剤などの社会悪物品の密輸阻止に向けたキャンペーンを実施しました。当日は、税関マスコットキャラクター「カスタム君」も登場し、子供連れをはじめ多くの買い物客に密輸防止をアピールしました。

キャンペーンの様子



## 覚せい剤 300 キロを摘発！

11月11日、税関は門司港在港中のシエラレオネ国籍船舶に対して警察、海上保安庁、麻薬取締部と合同で船内捜索を実施し、船内から約300kgの覚せい剤を摘発しました。

## 関係機関と連携体制の強化！

### 協議会の様子

11月25日、坂出税関支署は「平成20年度 神戸税関密輸出入取締対策香川地区協議会」を開催しました。協議会では税関、高松地方検察庁、香川県警察本部、高松海上保安部、高松入国管理局、四国厚生支局麻薬取締部及び高松国税局の7つの関係取締機関が一堂に会し、最近の取締状況や情報交換などを行い、国民の安全・安心を守るため、麻薬類等の社会悪物品摘発に向けた連携体制の強化を図りました。



## 本年もよろしくお願ひします！

税関では薬物や銃器等の日本への密輸防止に向けた活動を日夜行っております。もし、密輸に関する情報がございましたら、ぜひ下記電話番号にご一報下さい！

**税関ホームページ** <http://www.customs.go.jp>

**密輸ダイヤル** 0120-461-961 (24時間365日受付)

【坂出税関支署】	0877-44-9211	坂出市入船町 1-6-10
【高松出張所】	087-851-2874	高松市朝日町 4-3-8
【丸亀出張所】	0877-23-7696	丸亀市蓬萊町 32-1
【詫間出張所】	0875-83-3071	三豊市詫間町詫間 1328-9